

減量・中止基準

プレントキシマブ ベドチン(再発又は難治性のCD30陽性のホジキンリンパ腫及び未分化大細胞リンパ腫)

■ 用量調節(休薬減量基準)

副作用発現時の用量調節又は休薬については、「副作用(p.13～23)」を参照してください。

----- <用法・用量に関連する使用上の注意> (抜粋) -----

- (4) 本剤の投与により、副作用が発現した場合には、以下の基準を参考に、本剤を休薬、減量、中止すること。(「重要な基本的注意」、「重大な副作用」の項参照)

末梢神経障害

2) 再発又は難治性の CD30 陽性のホジキンリンパ腫及び未分化大細胞リンパ腫

Grade ^{注5)}	処置
Grade 1 (機能障害はなく、知覚障害、反射消失のみ)	同一用法・用量で、投与を継続する。
Grade 2 (機能障害はあるが、日常生活に支障はない)	ベースライン又は Grade 1 以下に回復するまで休薬する。回復した場合は、1.2mg/kg に減量して投与を再開する。
Grade 3 (日常生活に支障がある)	
Grade 4 (障害をきたす感覚ニューロパチー、生命を脅かす又は麻痺をきたす運動ニューロパチー)	投与中止する。

好中球減少症(共通)

Grade ^{注5)}	処置
Grade 1 (LLN 未満 1,500/mm ³ 以上) 又は Grade 2 (1,500 未満 1,000/mm ³ 以上)	同一用法・用量で、投与を継続する。
Grade 3 (1,000 未満 500/mm ³ 以上) 又は Grade 4 (500/mm ³ 未満)	ベースライン又は Grade 2 以下に回復するまで休薬する。回復後は、同一用法・用量で投与を再開する。

LLN: 基準値下限

注5) Grade は NCI-CTCAE v3.0 に基づく。